



### 風の盆越中おわらV



5月28日(土)、小杉放菴記念日光美術館で、「風の盆 越中おわら」の5回目の公演が開催され、演奏や踊りの他、富山県民謡越中八尾おわら保存会の古川さんによるおわら踊りの教室も行われました。

公演を見た渡辺さん(宇都宮市)は、「期待以上のすばらしさでした。ただの盆踊りではなく、高められた芸術だと思いました」と、感激した様子で話してくれました。

6月4日(土)・5日(日)、日光二荒山神社で日光だいきくまつりが開催されました。

大國様は日光二荒山神社の御祭神で、金運や幸運、縁結びの神として親しまれています。12月を除く毎月第2土曜日にだいきく参りの日として、境内の大國殿に良縁を祈願する縁日が開かれています。その中でも6月の第1土曜・日曜日はだいきくまつりとして2日間にわたり盛大に開催されます。



### 日光だいきくまつり



大國殿で打ち出の小づちを振り願い事をしてきた女性2人組は、「北海道から来ました。小づちを振ってお参りするところが珍しいですね」と話してくれました。

4日はだいきくバザーが開かれ、農産物や日用品、美術工芸品などの販売や地酒の試飲などが行われました。また、5日には、和太鼓の奉納演奏や投扇興、フリーマーケットも行われ、会場は大いににぎわいました。バザーの収益の一部は東日本大震災の義援金として被災地へと送られます。



5月28日(土)、裏見ノ滝で荒沢不動尊縁日が行われました。

滝に祭られている荒沢不動尊は、寛永元(1624)年に羽黒山(山形県)から迎えられ、以来、綱子沢であった沢の呼称は、荒沢に変わったとのこと。

当日は雨の中、興雲律院の中川光薫住職と日光修験行者の皆さんによって護摩が焚かれ、東日本大震災被災地の復興祈願などの願

### EUがあなたの学校にやってくる



5月10日(火)、県立今市高等学校で国際理解講演会「EU(欧州連合)があなたの学校にやってくる」が開催されました。これは、日本の高校生にEUへの理解や知識を深めてもらう目的で、駐日EU代表部が2007年から行っている事業です。講師を務めた英国大使館一等書記官のリチャード・オッペンハイム氏が、EUの成り立ちや仕組みなどを日本語で説明してくれました。



文が読み上げられました。

見学したミケル・イエンセンさん(デンマーク)は、「自然の中で世界平和や震災復興を祈ることはすばらしい」と、また家族で訪れた東充世さん(東京都)は、「心がスッキリするので、毎年来ています」と話してくれました。

儀式が終わった後には、けんちん汁や赤飯が振る舞われ、参列した皆さんは、笑顔で舌鼓を打っていました。

### 日光市合併5周年記念式典



5月22日(日)、今市文化会館大ホールで日光市合併5周年記念式典が開催され、合併に携わった関係者や姉妹交流都市、関係団体、市民の皆さんなど、約1,000名の出席がありました。

式典1部では、日光市長が、「主役である市民の皆さんとの協働によるまちづくりを、引き続き推進していきたい」と式辞を述べた後、来賓祝辞が行われました。引き続き行われた式典2部では、まちづくり基本条例の趣旨に基づき制定された市民憲章が、市内朗読グループと演劇団体の皆さんより発表されたり(写真①)、市内に広く生息し、身近で親しみ深いなどの理由により2種類ずつ選ばれた市の花・木・鳥・魚が、映像と共に紹介されたりしました。



最後は、公募による歌詞と、市ゆかりの作曲家船村徹氏の作曲による市の歌が、市内2つの少年少女合唱団とコーラス・ネットワーク・NIKKOの総勢200名の歌声と、今市中学校吹奏楽部の皆さんの演奏で披露された後、出席者全員で合唱し式典を締めくくりました(写真②)。

また、会場内には、東日本大震災義援金募金箱が設置され、多くの方の善意が寄せられました。集められた義援金は、市社会福祉協議会を通して、日本赤十字社に送られました。

※市民憲章、市の花・木・鳥・魚市の歌は、広報にっこう6月号と一緒に配布した「日光市合併5周年記念特集号」に詳しく掲載しています。

### 今月の表紙

#### 平家大祭



6月5日(日)・6日(月)の2日間、湯西川温泉で開催された平家大祭。5日は、前夜祭として上臈参拝が上演されました。

6日の平家絵巻行列では、湯殿山神社に集まった、日光市長扮する平清盛をはじめとする武者や子ども武者、姫たちが、出陣式でとぎの声を上げた後、平家の里へ向けて次々に出陣。今年も姫たちが行列に加わったことで華やかさが増し、武者たちは勇壮に、そして

6月5日(日)・6日(月)の2日間、湯西川温泉で開催された平家大祭。5日は、前夜祭として上臈参拝が上演されました。

6日の平家絵巻行列では、湯殿山神社に集まった、日光市長扮する平清盛をはじめとする武者や子ども武者、姫たちが、出陣式でとぎの声を上げた後、平家の里へ向けて次々に出陣。今年も姫たちが行列に加わったことで華やかさが増し、武者たちは勇壮に、そして

と笑顔を見せられました。晴天に恵まれた温泉街は、祭りを楽しむ大勢の観光客でにぎわいました。

姫たちはあでやかに、温泉街を練り歩きました。

行列が到着した平家の里では凱旋式が行われ、平家ゆかりの地である下ノ関の赤間神宮宮司による神事や巫女による蘭陵王の舞、鏡開きなどの後、武者たちの勝ちどきが上がりました。那須塩原市の女性は、「平家大祭は何度か見に来ています。今年も新湯に住む姉にお祭りを見せたくて、連れてきました。とても楽しめました」と笑顔を見せられました。晴天に恵まれた温泉街は、祭りを楽しむ大勢の観光客でにぎわいました。

